

東京 PCB 廃棄物処理施設の操業状況

日本環境安全事業(株) (JESCO)



平成 20 年 10 月 21 日、日本環境安全事業(株) (以下 JESCO) 東京事業所が、PCB 廃棄物処理事業検討委員会を開催し、東京 PCB 廃棄物処理施設における操業状況について報告・審議検討が行われました。

平成 20 年度 PCB 廃棄物処理状況

種別処理投入台数(高濃度)	H19 計	H20 4月	H20 5月	H20 6月	H20 7月	H20 8月	H20 9月	H20 計
トランス・リアクトル(台)	84	10	2	4	33	13	20	82
コンデンサ(台)	895	127	0	36	182	125	208	678
安定器等(個)	1,829	0	0	0	0	864	0	864
PCBを含む油(kg)	12,680	0	0	5,248	14,432	14,996	8,528	43,204

上記処理状況において、4～6 月にかけて処理台数が極端に少ないのは、洗浄液蒸留設備トラブル(4 月)、定期点検工事(5/19～6/19)で運転を停止したためです。7 月から順調に処理が行われましたが、8 月は液体酸素ポンプのトラブル発生などで再度停止しました。9 月に入ってからトラブルもなく順調に処理が行われ、処理量が安定的に増加している状況です。平成 17 年の操業時の稼働率は約 10%前後でしたが今年度は 30～40%にまで改善し、来年度には 80%を目標に稼働率を上げていく予定です。

また、トラブルが多いという点では今後改善を図り、安全を第一にトラブルを考慮した上で PCB 廃棄物処理期限(平成 28 年 7 月 15 日)まで余裕のある処理計画を立てることが JESCO の最大の課題となりそうです。

当社では、絶縁油中の PCB 分析について多くのお客様からご依頼を頂き、多検体、短納期の体制で行なっておりますので是非お任せください。

資料 PCB 廃棄物処理事業検討委員会公聴より

クロマト分析箇所 山名美貴枝